

● 予算委員会

◆ 今定例会の審査結果

令和5年度勝山市一般会計予算19億円(前年度比0.2%減)と令和4年度勝山市一般会計補正予算(第8号)の審査を行い、いずれも可決しました。

毎年、3月定例会の予算委員会では、新年度予算の審議を行うため、議論が白熱します。

ここでは、特に議論が活発であった案件を取り上げて報告します。

◆ パートナーシップ宣誓制度

企画推進費

予算額 91万円

理事者から、パートナーシップ宣誓制度は、性的マイノリティの方々安心して暮らせる社会づくりを目指すための制度の一つであると説明があり、議論を交わしました。
委員 ◆ 実施要綱の第1条には、「性自認」という概念、文言が使用されている。性の多様性を認めるならば性同一性と表記するべき。性自認は、認識の多様性とも言える広範なもの。医師の診断で確認可能な性同一性とは違い、性自認は他者から確認できない。

理事者 ◆ 他市町においても同様の文言を使用しており、性自認で進めたい。

委員 ◆ 性自認については国会でも争点となっており、同じ概念を導入している他国では裁判沙汰や事件も頻発している。性自認は、性同一性と変更するか削除すべき。理事者 ◆ 検討したい。

※後日、性自認の文言は削除

◆ 結婚を支援していきます

結婚相談事業費

予算額 116万6000円

コロナ禍で近年、婚活イベントが開催されず、成婚に至る例もありませんでした。

委員会ではこの状況を深刻に捉えた議論がありました。

委員 ◆ 成婚率向上のため、民間企業の力を借りる考えはないか。

理事者 ◆ 令和5年度は、婚活イベントの前に民間の講師を招き、コミュニケーション力アップ講座と



魅力を高めるファッション講座の開催を予定している。また、親の婚活講座も開催する。

委員 ◆ 新たに民間の結婚相談所の力を借りるため、登録費用の補助は考えないか。

理事者 ◆ 福井県内の自治体で構成する「ふくい結婚応援協議会」が実施しているマッチングシステムも活用している。

委員 ◆ この事業を否定するものではない。補正予算で計上することも含め、民間の結婚相談所の力を借りることを並行して考えてほしい。

◆ 新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルスワクチン接種対策事業費

予算額 1434万8000円

新型コロナウイルス対策で求められた生活様式が元に戻り始めたが、その変化に勝山市が対応できているかという観点で議論されました。

委員 ◆ 一般質問で、3月13日以降の市役所内のマスク対応をどう考えるかの問いに、課長と市長の答弁が数分で一変しているが、なぜか。庁内で検討していなかったのではないか。

また、これまでコロナ対策を理由に喫煙所の利用を止めていた

が、今後はどう考えているのか。

理事者 ◆ (一般質問で答弁した時点では) 方針の決定や周知等ができていなかった。課長の答弁は誤りで、市長の答弁のとおり、職員は自分の間マスクを着用することとし、県内の状況などを見ながら対応を検討したい。

喫煙所については、ドアを閉鎖した際は密になる等、コロナ感染予防と副流煙の課題がある。

委員 ◆ 感染予防という課題は、排烟機能で解決されている。路上喫煙等の問題があり、総合的に判断してほしい。

委員 ◆ 市内全体の喫煙事情を考えると、喫煙所マップ等がないと喫煙者が困惑する。

理事者 ◆ マップを行政が作成することは難しい。喫煙所は、パートナーでの実現も考えている。

◆ 生分解性マルチへの補助を拡充

農地活用支援事業費

予算額 1150万円

里芋栽培に使う生分解性マルチの購入に対し、生分解性マルチと黒マルチの差額について、現在の半額補助から令和5年度は全額補助に拡充したいとの説明がありました。